# 要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果の公表

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、公表します。

令和5年1月

大阪府

# 目次

1	附表	耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価	••••	1~2
2	用途ごとの公表一覧表	小学校、中学校、中等教育学校の前期過程若しくは特別支援学校		3 <b>~</b> 29
		体育館(一般公共の用に供されるものに限る。)		30
		ボーリング場、スケート場、水泳場その他これらに類する運動施設		31
		病院又は診療所		32
		集会場又は公会堂		33
		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗		34
		ホテル又は旅館		35
		幼稚園又は保育所		36
		保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物		37

# 附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

	耐震診断の方法	+ の 夕 <del>竹</del>	構造	耐力上主要な部分の地震に対する	安全性
		女の石朴	I	П	Ш
1	一般財団法人日本建築防災協会による 指針」(1996年版、2011年版)	「既存鉄骨造建築物の耐震診断	I <sub>s</sub> <0.3 又は q<0.5	左右以外の場合	0.6≦I <sub>S</sub> かつ 1.0≦q
2	一般財団法人日本建築防災協会による の耐震診断基準」に定める「第1次診断 て所要の耐震性を確保していることを確	法」により想定する地震動に対し	_	_	1.0≦I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub>
3	一般財団法人日本建築防災協会による の耐震診断基準」に定める「第2次診断:		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> <0.5 又は	左右以外の場合	1.0≦I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> かつ 0.3≦C <sub>T</sub> ・S <sub>D</sub> ≦1.25
	版)		$C_T \cdot S_D < 0.15$	4100/10/80	1.25 <c<sub>T⋅S<sub>D</sub></c<sub>
4	一般財団法人日本建築防災協会による の耐震診断基準」に定める「第2次診断 版)		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> <0.5 又は C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> <0.15・Z・G・U	左右以外の場合	1.0≦I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> かつ 0.3・Z・G・U≦C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub>
5-1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物	鉄骨が充腹材の場合	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> <0.5 又は C <sub>T</sub> ・S <sub>D</sub> <0.125・Z・G・U	左右以外の場合	$1.0 \le I_S/I_{SO}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot G \cdot U \le C_T \cdot S_D$
5-2	の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	鉄骨が非充腹材の場合	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> <0.5 又は C <sub>T</sub> ・S <sub>D</sub> <0.14・Z・G・U	左右以外の場合	$1.0 \le I_S/I_{SO}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot G \cdot U \le C_T \cdot S_D$
6	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」		I <sub>S</sub> <0.3 又は q<0.5	左右以外の場合	0.7≦I <sub>S</sub> かつ 1.0≦q
7	一般財団法人日本建築防災協会による クリート造建築物の耐震診断指針」に定 地震動に対して所要の耐震性を確保して	める第1次診断法により想定する	-	_	1.0≦I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub>
8	一般財団法人日本建築防災協会による の建築物の簡易耐震診断法」	「既存壁式鉄筋コンクリート造等	_	_	要件を全て満たす
9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和 時点の建築基準法(昭和25年法律第20 び条例の規定(構造耐力に係る部分(構 部分に限る。)に限る。)に適合するもの	1号)並びにこれに基づく命令及 造計算にあっては、地震に係る	_	-	確認できる

- I. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- Ⅱ. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- Ⅲ. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
- (※)震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。 いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては 損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。
- (※)Isoについては備考欄に特記がない限り、0.6とする。

(※)Z、G、Uについては備考欄に特記がない限り、1.0とする。

#### 小学校、中学校、中等教育学校の前期過程若しくは特別支援学校

No	建築物 <i>0.</i>	2名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修等の予定	備考															
		①棟		±/20/11@		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造	現状値 I <sub>s</sub> /I <sub>so</sub> =1.01、	目標値 I <sub>s</sub> /I <sub>so</sub> =1.00、	内容 実施時期																
		①傑 (北棟)			4	一般的団法人日本建築防災協会による「既存鉄防コングリート宣建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$C_{TU} \cdot S_D = 0.74$	C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7															
1	豊能町立吉川中学   校	②の一部 (東棟)	豊能郡豊能町東と - きわ台1-3-2	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.07$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.99$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7															
	12	③棟+ ②の一部 (南棟)	24201 0 2		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.04, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.75	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7															
		①棟 (北棟)	摂津市学園町2-9- 1		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.47$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7															
2	摂津市立三宅柳田 小学校	②棟 (東棟)		小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.72$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7															
		③棟 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.14$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7															
		①棟 (西棟)			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_T \cdot S_D=0.70$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7															
		⑮棟 (南棟)			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_T \cdot S_D=0.71$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7															
3	  摂津市立千里丘小  学校	⑩棟 (北·西棟)	摄津市千里丘3- 					小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7											
	7-12	22棟 (北·東棟)						13-4	110-4					4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.70$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7						
		23棟 (北·中央棟)									2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する 地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.59	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.0	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.8									
		②⑫棟 (北棟)	摄津市鳥飼下1-7- 1	摄津市鳥飼下1-7- 1	摂津市鳥飼下1-7- 1	摄津市鳥飼下1-7- 1	摄津市鳥飼下1-7- 1	摂津市鳥飼下1-7- 1	摄津市鳥飼下1-7- 1	摄津市鳥飼下1-7- 1	摂津市鳥飼下1-7- 1	摄津市鳥飼下1-7- 1	摄津市鳥飼下1-7- 1	摄津市鳥飼下1-7- 1	摄津市鳥飼下1-7- 1					3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_T \cdot S_D=0.73$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
4	摂津市立鳥飼小学 校	⑯棟 (西•南棟)														小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7			
		③棟 (西·北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7															
		①棟 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.05$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.89$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.77 U=1.1															
5	摂津市立第二中学	③棟 (中央棟)	摂津市鳥飼八防2-			_ 摂津市鳥飼八防2−	摂津市鳥飼八防2-	摂津市鳥飼八防2-					摂津市鳥飼八防2-	摂津市鳥飼八防2-				摄津市鳥飼八防2-	2- 中学校 -	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.15, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.87	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
	校	⑤棟 (東棟)	1-1	中子仪	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.06, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.79	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.77 U=1.1															
	(東棟) ①棟 (南棟)	①棟	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.07, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.81	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																	

No	建築物の	)名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 生の評価の結果	耐震改修等の予定	備考																
				17007172			現状値	目標値	内容 実施時期																	
		①棟 (北棟)			4		$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.35$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																
	扭决士士自和亚小	<ul><li>⑧棟</li><li>(南棟)</li></ul>	据决士自 <b>纪</b> 亚。		4	MANUEL CONTROL	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.72$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																
6	摂津市立鳥飼西小 学校	⑧棟 (渡り廊下棟)	摂津市鳥飼西3- 200	小学校	4		$I_S/I_{SO}=1.11$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																
		⑮棟 (給食室棟)			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要																	
	垣法士士第四七部	①棟 (北棟)	· 原油士市即应4		9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要																	
7	摂津市立第四中学 校	②棟 (南棟)	摂津市東別府4-   203-1ほか 	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.74$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																
		⑥棟 (東棟)			4		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.23, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.45	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																
		⑦棟 (体育館棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.67$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																
		⑧棟 (中央・南棟)	摂津市東別府5-1- 33								3		$I_S/I_{SO}=1.11$ , $C_T \cdot S_D=0.80$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7										
8	摂津市立別府小学 校	⑧棟 (中央・西棟)															小学校	3		$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_T \cdot S_D=0.34$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7			
		⑧棟 (中央・西棟)												3		$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_T \cdot S_D=0.34$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7							
		⑨棟 (南棟)			4		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.12, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.88	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																
		①棟 (北棟)	摄津市一津屋2- 19-1																		3		$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_T \cdot S_D=0.32$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
9	摂津市立味生小学 校	個、15棟 (西棟)				小学校	4		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.06, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.75	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7														
		<sup>16</sup> 棟 (南棟)			4		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.71	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																
		①棟 (南棟)			4		$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.52$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																
10		⑦棟 (北棟)	摂津市三島3-25-1 小学校 				4		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.06, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.80	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7														
	1.4	①4棟 (西棟)													2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する 地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.16	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.0	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.8						

No	建築物 <i>0</i> .	2名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修	§等の予定	備考									
				1/2 0/11æ			現状値	目標値	内容	実施時期										
		①棟 (北棟)			3		$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_T \cdot S_D=0.33$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7									
		②棟 (中央棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.77	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7									
11	摂津市立第一中学 校	③棟 (南棟)	摄津市南千里丘 540-2	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.04, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.81	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7									
		渡り廊下A (北側)			1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	I <sub>S</sub> =0.77、 q=3.09	I <sub>S</sub> =0.6, q=1.0	耐震改	7修不要										
		渡り廊下B (南側)			1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	I <sub>S</sub> =0.97、 q=3.89	I <sub>S</sub> =0.6、 q=1.0	耐震改	7修不要										
12	島本町立第三小学	B棟 (北棟)	三島郡島本町桜井	小学校	4		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =0.57、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	金品	a <i>h l⁄a</i> :★	I <sub>SO</sub> =0.7 U=1.1									
12	校	C棟 (南棟)	2	小子权	4		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =0.83, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.42	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$			I <sub>SO</sub> =0.7 U=1.1									
13	島本町立第四小学 校	④棟 (東棟)	三島郡島本町高浜	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.05$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改		I <sub>SO</sub> =0.75 U=1.25									
13	校	①棟 (西棟)			80-1	小子权	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.55	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改	/11窓小安	I <sub>SO</sub> =0.75 U=1.25							
		①-1、①-2 (北棟)	 三島郡島本町東大 寺4-150										4		$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.51$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	(修个安	I <sub>SO</sub> =0.75 U=1.25	
14	島本町立第二中学 校	⑫ (中央棟)													中学校	4		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.11, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.51	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改
		給食室棟									9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改	7修不要				
		②-1 (北棟)			4		$I_S/I_{SO}=1.07$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	《廖小安	I <sub>SO</sub> =0.75 U=1.25									
15	島本町立第一小学 校	①4-1、2、3、4 (南棟)	三島郡島本町広瀬 1-826-2ほか										小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.44	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改		I <sub>SO</sub> =0.75 U=1.25
		(19) (中央棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.82$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	/11窓小安	I <sub>SO</sub> =0.75 U=1.25									
16	島本町立第一中学	③棟 (西棟)	三島郡島本町水無	中学校	4		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.07, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.87	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	/1  念/1\学	I <sub>SO</sub> =0.75 U=1.25									
10	校	①棟 (東棟)	瀬1-703-1ほか	中子权	4		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.79	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	/11念小笠	I <sub>SO</sub> =0.75 U=1.25									

No	建築物 <i>0</i> .	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修等の予定	備考														
				±/20/11/2			現状値	目標値	内容 実施時期															
		(校舎15) (北·北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7														
		(校舎18) 校舎A (北·南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.06$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.34$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7														
		(校舎19) 校舎C (渡り廊下棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.27$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.31$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7														
17	大東市立泉小学校	(校舎9) 校舎B (中央・北棟)	大東市泉町1-246-	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.51$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7														
	人東市 <u></u>	(校舎17-1,2の 一部,3) 校舎D、E (南・北棟)	3	小子校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.34$	$I_{\rm S}/I_{\rm SO}$ =1.00, $C_{\rm TU} \cdot S_{\rm D}$ =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7														
		(校舎17-2の一 部,4,5) 校舎D、E (南・南棟)				4	ー般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.43$	$I_{\rm S}/I_{\rm SO}$ =1.00, C <sub>TU</sub> ·S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7													
		EV棟			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要															
		③棟 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7														
18	大東市立三箇小学 校	④-1、2棟 (東棟)	大東市三箇1-322- 1	大東市三箇1-322- 1	大東市三箇1-322- 1	大東市三箇1-322- 1	大東市三箇1-322- 1	大東市三箇1-322- 1	大東市三箇1-322- 1	 大東市三箇1-322- 1	_ 大東市三箇1-322- 1	_ 大東市三箇1-322- 1	大東市三箇1-322- 1	大東市三箇1-322- 1	- 小学校	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7		
		<b>④</b> −1棟 (西棟)			1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	I <sub>S</sub> =2.00、 q=8.00	I <sub>S</sub> =0.6, q=1.0	耐震改修不要															
		7-1、7-2 (中央棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7														
	C	⑦-3号棟 (東·北棟)			大東市末広町996- 7	大東市末広町996- 7			İ								『市末広町996- 小学校		3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_T \cdot S_D=0.37$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
19	大東市立住道南小 学校	東市立住道南小 ⑦-5号棟 大東市末広町	東市立住道南小 ⑦-5号棟 大東市末	立住道南小 ⑦-5号棟 大東市末広町996-			大東市末広町996- 7	大東市末広町996- 7	大東市末広町996- 7	大東市末広町996- 7	大東市末広町996- 小学	大東市末広町996- 7	大東市末広町996- 7	大東市末広町996- 7	大東市末広町996- 7	大東市末広町996- 7		3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_T \cdot S_D=0.37$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7	
	7-	7-4、7-6 (西·北棟)	<u> </u>				4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.08$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.65$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7												
		①号棟 (西•南棟)			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.08$ , $C_T \cdot S_D=0.51$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7														

No	建築物の	2名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修	等の予定	備考																					
				170			現状値	目標値	内容	実施時期																						
		⑧-1、⑧-2 (東·北棟)			4		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.04、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.77	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																					
		⑨-1 (東·南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.09$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																					
20	20 大東市立住道中学校	⑪-1、⑪-2、⑪ -3、⑪-4、⑪-5 (南棟)	大東市末広町1070	中学校	4		$I_{S}/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.38$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																					
		22-1、22-2 (北棟)		<u></u>		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.64	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																				
		⑪(西棟)				4		$I_S/I_{SO}=1.91$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.46$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																				
		⑥-1·2(南)棟 (南棟)				4		$I_S/I_{SO}=1.07$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																				
		⑥-2(北)~5棟 (西棟)		小学校	4		$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																					
21	大東市立南郷小学 校	①-1~3棟 (北棟)	大東市太子田1- 107		小学校	小学校	4		$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																			
		EV棟			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改	修不要																						
		①-1、①-2棟 (西棟)																								4		$I_S/I_{SO}=1.16$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.41$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
22	大東市立谷川中学 校	⑥-1、⑥-2棟 (南棟)	大東市谷川2-75	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	4		$I_S/I_{SO}=1.09$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7							
		①-1棟、①-2 棟 (東棟)			4		$I_{S}/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																					

No	建築物 <i>0</i> .	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称	対する安全	要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修等の予定	備考													
		⑥-1、2棟 (北·西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	現状値 I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00、 C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.74	目標値 I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00、 C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.30	内容 実施時期 耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7													
		⑦-1棟 (北·東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.75	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7													
		⑫-1、2、3棟 (南·東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.75	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7													
23	大東市立氷野小学 校	⑯-1、2棟 (東棟)	大東市大東町101	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.56	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7													
		⑪-1、2棟 (南•西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7													
		®-1、2棟 (渡り廊下棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.11$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7													
		EV棟			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要														
		①•②棟 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.06$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7													
24	大東市立四条中学 校	345棟 (北棟)		大東市寺川2-504	大東市寺川2-504	大東市寺川2-504	中学校	4	建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.73$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7										
		EV棟			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要														
		①-1棟、①-2 棟、①-3棟、① -4棟 (中央棟)		一大東市西楠の里町	一大東市西楠の里町	一大東市西楠の里町					- 大東市西楠の里町							4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.77$	$I_{\rm S}/I_{\rm SO}$ =1.00, $C_{\rm TU} \cdot S_{\rm D}$ =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		⑤-1棟 (南•北棟)												4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.07, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.81	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
	大東市立四条北小 学校 ( あ	⑤-2棟 (南•南棟)												4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =2.66 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =2.02	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
25		⑤-3棟 (西渡り廊下 棟)																					小学校
		②-1棟、②-2 棟 (北棟)	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.03, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.78	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7															
		②-3棟 (東渡り廊下 棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.37$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.40$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7													

No	建築物 <i>0</i>	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修	等の予定	備考																			
							現状値	目標値	内容	実施時期																				
		①棟 (南棟)			4		$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																			
		②棟 (北·西棟)			4		$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																			
26	大東市立四条小学 校	⑦棟 (北·中央棟)	大東市野崎4-206- 1	小学校	4		$I_S/I_{SO}=1.06$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																			
		⑪棟 (北·東棟)			4		$I_S/I_{SO}=1.10$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																			
		②-1棟 (下足室棟)			1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	I <sub>S</sub> =2.12、 q=8.48	I <sub>S</sub> =0.6、 q=1.0	耐震改	修不要																				
		①-1、①-2、① -3、①-4棟 (北棟)			4		$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.74$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	/修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																			
27	大東市立灰塚小学 校	②-1、②-2、② -3、②-4棟 (西棟)	②-4棟 大東市灰塚1-31 棟) 棟	小学校	4		$I_{S}/I_{SO}=1.10$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.82$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																			
		EV棟			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震리	修不要																				
		⑦管理教室棟 (中央棟)		理教室棟 別普通教						<b>-</b>	hat 700	<b> </b>		<b>- 大</b> 市 市 涇 縣 1 _ 12 1 _	· <b>*</b> * * * * * * * * * * * * * * * * * *	·十市本次取1_121_	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	- 十 市 本 次 昭 1 _ 12 1 _	- 大車市涇縣1-121-	·大車市涇野1-131-	- 大東市深野1-131-	大東市深野1-131-		3		$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_T \cdot S_D=0.75$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		(中央棟) ⑨管理教室棟 ⑪特別普通教 室棟 (南棟)	⑨管理教室棟 ⑤特別普通教 室棟 (南棟)																					3		$I_{S}/I_{SO}=1.03$ , $C_{T} \cdot S_{D}=0.48$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改	<b>෭</b> 修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
28	大東市立深野中学校   20枚(北)   24枚(東)	20棟 (北棟)	大東市深野1-131- 1 	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	深野1-131- 中学校 - -	中学校	3	中学校 3	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校 3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	Is/Iso=1.01, C <sub>T</sub> •S <sub>D</sub> =0.50	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
		24棟 (東棟)		†			_	]							4		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.77、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =1.26	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7									
		EV棟			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改	/修不要																				

No	建築物 <i>0</i>	)名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途		耐震診断の方法の名称	構造耐力上主 対する安全	要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修等の予定	備考																	
		①号棟		77. 0/11@	3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造	現状値 I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1·01、	目標値 I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00、	内容 実施時期 耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																	
		(南棟)			3	建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	C <sub>T</sub> • S <sub>D</sub> =0.75	0.3≦C <sub>T</sub> •S <sub>D</sub> ≦1.25	删层以修个安	150-0.7																	
	大東市立深野小学	⑨-1 (北棟)			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_T \cdot S_D=0.38$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																	
29	校	⑨-2、⑨-3棟 (東棟)	大東市深野3-64-5	小学校	3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_T \cdot S_D=0.32$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																	
		⑨-4、⑨-5号 棟 (中央棟)			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.36, C <sub>T</sub> ·S <sub>D</sub> =0.31	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																	
		②-1、②-2、② -3棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.48$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																	
		①-1、①-2、① -3 (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.35$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																	
30	大東市立北条中学	⑧-3、⑧-4 (南・東棟)	大東市北条2-881 ?	山学坛	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.06$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.68$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																
30	校	⑦、⑧-1、⑧-2 棟 (南·中央棟)		7人来[[] 北宋2 001	一人来们起来2-001	XX11745X2 001	十十枚	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.06$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.50$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7														
		① (南·西棟)											4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.09$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7									
		EV棟			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要																		
		A棟 (南棟)								4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7												
		B棟 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.73$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																	
		C棟 (北棟)	-	1	-		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7															
31	大東市立北条小学 校	D棟 (東棟)	大東市北条6-1414	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		E棟 (渡り廊下棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.10, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.37	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7																	
		EV棟			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要																		

No	建築物 <i>0</i>	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称	構造耐力上主 対する安全	要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修等の予定	備考
				土たる市歴			現状値	目標値	内容 実施時期	
		①-1、①-4棟 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		①-1、①-2、① -3棟 (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.07$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.34$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
32	大東市立諸福小学 校	①-1、①-7棟 (中央棟)	大東市諸福1-10	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.10$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.43$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		⑤-1、⑤-2棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.09、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.45	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		①-1、①-5、① -6、①-7棟 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.39$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		①-1、①-2、① -3、①-4 (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.07$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.78$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
33	大東市立諸福中学 校	⑪-1、⑪-2、⑪ -3、⑪-4 (西棟)	大東市諸福5-312	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.04、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.41	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		EV棟			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要	
34	四條畷市立四條畷中	中学校	四條畷市岡山東5- 86ほか	中学校	3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_T \cdot S_D=0.36$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		A管理特別教室 棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.02, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.31	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
35	四條畷市立忍ヶ丘	B普通教室棟 (中央棟)	四條畷市岡山東5-	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.02, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.33	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
33	小学校	C普通教室棟 (南棟)	153	小子双	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		EV棟			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要	
		A棟 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.04、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.36	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
36	四條畷市立西中学 校	B棟 (南棟)	四條畷市大字蔀屋 285-21ほか	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.02、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.72	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		C棟 (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.12$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.49$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7

No	o 建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修等の予定	備考				
				±/20/11/2			現状値	目標値	内容 実施時期					
		A棟 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}$ =2.15, $C_{TU} \cdot S_D$ =0.60	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
37	四條畷市立岡部小 学校	B棟 (南棟)	四條畷市砂市1- 82-1ほか	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.07$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.75$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
		C棟 (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.25$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.90$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
		A棟 (中央棟)			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{T} \cdot S_{D}=0.39$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
38	四條畷市立四條畷 小学校	B棟 (東棟)	四條畷市大字中野 872-1ほか	小学校	3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_T \cdot S_D=0.43$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
		C棟 (西棟)			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_T \cdot S_D=0.44$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
		A棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
39	四條畷市立南小学 校	B棟 (南棟)	四條畷市中野新町762-1ほか	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.05$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.82$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
		C棟 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.80$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
		A棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.78$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
40	四條畷市立くすのき小学校	B棟 (南棟)	四條畷市二丁通町	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.07$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.35$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
		EV棟			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要					
41	四條畷市立南中学校	交	四條畷市南野5- 1067-1ほか	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.35$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
42	四條畷市立東小学	A棟 (北棟)	四條畷市南野6-	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.08$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
72	校 	B棟 (南棟)	1177ほか	7.7-12	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.05$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.82$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
		北館特別教室 棟⑦ (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.11$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.43$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
43	交野市立第二中学 校	特別教室及び 普通教室棟② (南棟)	交野市幾野4-1-1	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.35$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7				
	校 (甲株) 交野巾幾野4-1-1 中海 管理室及び普 通教室棟 (東棟)		管理室及び普 通教室棟		通教室棟		管理室及び普通教室棟		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		<ul><li>⑧棟渡り廊下</li><li>(中央棟)</li></ul>			1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐 震診断指針」(1996年版)	I <sub>S</sub> =0.82、 q=3.28	I <sub>S</sub> =0.6, q=1.0	耐震改修不要					

No	建築物の	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修	等の予定	備考
				17007172			現状値	目標値	内容	実施時期	
44	交野市立私市小学	管理·普通教室 棟① (南棟)	交野市私市9-5-10	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.52$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
	TX	特別教室棟② (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.73	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
45	交野市立交野小学	管理·普通教室 棟⑥ (中央棟)	交野市私部1-54-1	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.27、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.61	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
45	校	管理·普通教室 棟⑤ (南棟)		小子伙	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.14, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.31	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
46	交野市立第一中学	管理棟③-1棟 (西棟)	交野市私部南3-1-	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
40	校	普通教室棟② (東棟)	1	中子权	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.07、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.84	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		①-1~6棟 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.74$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
47	交野市立倉治小学 校	⑤棟 (西棟)	交野市倉治1-15-1	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.74$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		普通教室棟④ (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.07$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.42$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
	交野市立長宝寺小	普通教室棟① (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.78$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
48	学校	特別·普通教室 棟② (北棟)	交野市郡津1-43-1	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.09$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.55$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		普通教室棟④ (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.06, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.56	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改化	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
49	交野市立郡津小学 校	管理·特別教室 棟①棟 (西棟)	交野市郡津4-13-1	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.06$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.55$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		特別·普通教室 棟②-1,2 (中央棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.04, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.79	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
50	関西創価中学校・	中学棟 (東棟)	大阪府交野市寺3-	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.05$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改化	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
50	高等学校	図書館棟 (西棟)	725-1	甲子校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.04、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.50	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
51	大阪府立交野支援 学校	①-1、①-2棟 (西棟)	交野市寺4-831	特別支援学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.02、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.74	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7

No	建築物 <i>0</i> .	3名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修等	等の予定	備考
				工化的加速			現状値	目標値	内容	実施時期	
		①-1·2棟 (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.09$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.82$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修	<b>修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
52	交野市立星田小学 校	④棟 (南棟)	交野市星田3-33-4	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.07$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修	<b>多不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
		管理棟③ (中央棟)			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.07$ , $C_{T} \cdot S_{D}=0.78$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改修	多不要	I <sub>SO</sub> =0.7
53	交野市立旭小学校	特別教室棟②- 1,2 (西棟)	交野市星田4-18-1	小学校	4	ー般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.39$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修	<b></b> 多不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		①棟1,2,3 (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.04, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.43	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修	<b>多不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
		①棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.52$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修	<b>多不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
54	交野市立第三中学 校	⑦-1·2棟 (南棟)	交野市星田8-67-1	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.06$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修	<b>多不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
		⑧棟 (渡り廊下棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.13$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.49$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修	<b>多不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
		西普通教室棟 ② (北棟)			4	ー般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.71$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修	<b></b> 多不要	I <sub>SO</sub> =0.7
55	交野市立藤が尾小 学校	管理·普通教室 棟① (南棟)	交野市星田北2- 45-1	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.56$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修	<b>多不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
		③棟 (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.04、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.74	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修	多不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		特別·普通教室 棟⑤-1,2,3,4 (北棟)			4	ー般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.76$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修	<b></b> 多不要	I <sub>SO</sub> =0.7
56	交野市立岩船小学 校	渡り廊下棟② (中央棟)	交野市森北1-25-1	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.09$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.51$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修	<b>多不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
		普通教室及管 理棟① (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.07$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.78$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修	<b>修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
57	柏原市立堅下南小 学校	①-1,2	柏原市安堂町710	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.53$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修	<b>多不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
		③ (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.12$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修	———— 多不要	
58	柏原市立玉手小学 校	⑦-1、2、3 (東棟)	柏原市円明町1-1	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.57	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修	多不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		⑦-4、② (中央棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.51$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修	———— 多不要	I <sub>SO</sub> =0.7

No	建築物の	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称	対する安全的	要な部分の地震に 生の評価の結果	耐震改修等の予定	備考		
							現状値	目標値	内容 実施時期			
		②-1,2,3 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7		
		③-1 (中·北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.19, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.89	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7		
59	柏原市立国分小学 校	③-2 (中•南棟)	柏原市国分本町6- 11-4	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.03, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.77	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7		
		① (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.49	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7		
		22 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.10, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.81	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7		
		⑪-1 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.07, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.84	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7		
		⑪-2 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.04, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.77	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7		
60	柏原市立柏原小学 校	①4−1,3 (中央棟)	柏原市大正1-9-53	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.07, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.67	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要			
	校 (1	①—2 (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.49$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7		
		① (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.06, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.40	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7		
		③-1,2 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.02, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.79	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修済	I <sub>SO</sub> =0.7		
61	柏原市立柏原中学 校	① (中央棟)	柏原市堂島町1-28	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.77	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修済	I <sub>SO</sub> =0.7		
		⑪-1 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.78	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修済	I <sub>SO</sub> =0.7		
62	柏原市立堅下北中	① (南棟)	柏原市平野2-403-	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.73$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7		
02	学校	③-1、2 (中央棟)	1	十子权	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7		
		①-1、①-2、① -3 (北棟)	<b>拉萨士洪</b> 莱士。		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}$ =1.00, $C_{TU} \cdot S_{D}$ =0.56	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7		
63	相原市立堅下北小 ②	② (南棟)	柏原市法善寺4- 359-5	小学校	小学校	小学校 4	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.03, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		④-1,2 (中央棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7		

No	建築物 <i>0</i> .	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修等の予定	備考							
				1/20/11/2			現状値	目標値	内容 実施時期								
		1棟 (東·中棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.05$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.43$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7							
		2棟 (西•南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.08, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.56	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7							
		3棟 (東·北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.73	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7							
		7棟 (東·東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7							
64	富田林市立高辺台 小学校	11棟 (西·北棟)	富田林市高辺台3- 1-1	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.10$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.80$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7							
		13棟 (渡り廊下棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.51$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7							
		14棟 (東·南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.33$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7							
		15棟 (西•中棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7							
		16棟 (西•西棟)									4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.24$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.41$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7	
		5棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.09$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7							
		10棟 (中央棟)		·   							9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要		
65	富田林市立金剛中学校	11棟 (南棟)	富田林市寺池台1-	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.78$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7							
	7-1X	12棟 (給食棟)	富田林市寺池台1- 									9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要	
		13棟 (西棟)			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要								
66	富田林市立寺池台	A棟・B棟 (北棟)	富田林市寺池台4-	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7							
00	小学校	C棟 (南棟)	3–1	小子仪	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=2.74$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.68$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7							

No	建築物の	2名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称	対する安全	要な部分の地震に 生の評価の結果	耐震改修等の予定	備考
						_	現状値	目標値	内容 実施時期	
67	富田林市立伏山台/ 棟	\学校22棟、23	富田林市伏山2-1- 1	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
00	富田林市立藤沢台	①-1,5棟 (西棟)	富田林市藤沢台2-	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.73$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
68	小学校	⑤棟 (中央棟)	3–1	小子校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.10$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		1棟 (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.14, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.85	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		7棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.10$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.45$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
69	富田林市立葛城中学校	8棟 (中央棟)	-  富田林市藤沢台3-  4-1	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.08$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.76$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
	712	9棟 (南棟)	† '		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.10$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		10棟 (管理棟)			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要	
		11棟 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.14, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.80	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
70	河内長野市立加賀 田中学校	1棟 (東棟)	河内長野市石仏 570	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.12, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.80	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		10棟 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.04, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.36	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		1棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.07$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.75$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
71	河内長野市立石仏	9棟 (中央棟)	  河内長野市石仏	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.54, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.38	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
/1	小学校	10棟 (南棟)	662	小子校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.11, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.39	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		11棟 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.17、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.48	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		26-1, 2, 3棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.10, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.56	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
72	河内長野市立千代 田中学校	28-1, 2, 3棟 (南棟)	河内長野市市町 1367-1	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.80$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		27-1, 2棟 (中央棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.05, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.78	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7

No	建築物 <i>0</i> .	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修等の予定	備考
				±/20/11/2			現状値	目標値	内容 実施時期	
		16-2, 3, 4棟、 16-7, 8棟 (東棟)			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要	
73	河内長野市立三日 市小学校	1-1棟 (南棟)	河内長野市上田町 380	小学校	3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.12$ , $C_T \cdot S_D=0.42$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		17-1~5棟 (西棟)			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.05$ , $C_T \cdot S_D=0.47$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
74	河内長野市立小山田小学校	1-1, 2, 3, 4, 5 棟 (北棟)	河内長野市小山田 町590-1	小学校	3		$I_{S}/I_{SO}=1.10$ , $C_{T} \cdot S_{D}=0.80$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
	四小子权	2-1, 2, 3棟 (南棟)	- MJ 0000 1		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.04, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.64	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		12-1, 2, 3棟 (中央棟)			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_T \cdot S_D=0.30$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
75	河内長野市立加賀 田小学校	16棟 (南棟)	河内長野市加賀田 568-1	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		19棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.71$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		6-2棟 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.73$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
76	河内長野市立千代 田小学校	18-1棟 (東棟)	河内長野市木戸町 649	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.07$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.42$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		7-1、7-2棟 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.12$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.87$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		13-1, 2, 3棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.09$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.72$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
77	河内長野市立楠小 学校	1-1棟 (南棟)	河内長野市楠町東 1011	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.47$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		14-1, 2棟 (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		1-1棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.50$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
78	河内長野市立西中 学校	3-1棟 (南棟)	河内長野市下里町 257-3	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.56$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		2棟 (中央棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.32$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7

No	建築物の	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修	等の予定	備考						
				±/0/11/2			現状値	目標値	内容	実施時期							
		13-1, 2, 3, 4, 5棟(A) (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.04、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.48	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	(修不要	I <sub>SO</sub> =0.7						
79	河内長野市立天野 小学校	13-1, 2, 3, 4, 5棟(B) (中央・東棟)	河内長野市下里町 365	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.48$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	/修不要	I <sub>SO</sub> =0.7						
		13-6棟 (中央·西棟棟)			1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	I <sub>S</sub> =0.81、 q=3.25	I <sub>S</sub> =0.6、 q=1.0	耐震改	修不要							
		12-1, 2, 3, 4棟 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.10$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要		I <sub>SO</sub> =0.7						
		21-1, 21-2, 37-1棟の一部 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.18、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.73	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7						
80	河内長野市立長野 小学校	11-1, 11-2, 11-3, 11-4棟 (東棟)	河内長野市西代町	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.67$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要		I <sub>SO</sub> =0.7						
		7-1, 7-2棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.82$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要		I <sub>SO</sub> =0.7						
		37-1棟の一部 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.12$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.57$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7						
		20-3, 4, 5, 6, 7, 8棟 (西棟)			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改修不要								
81	河内長野市立東中 学校	31-1, 2棟 (南棟)	河内長野市日東町 26-1	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校	3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_T \cdot S_D=0.35$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
	学校 32-1, 2棟 (東棟)		甲子校 _	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.75$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7							
		1棟 (中央棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.74$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7						

No	建築物の	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称	構造耐力上主 対する安全	要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修	等の予定	備考
				±/20/11@			現状値	目標値	内容	実施時期	
		22棟 (東棟)			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.35$ , $C_T \cdot S_D=0.97$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		19-1, 4, 5棟 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
82	河内長野市立長野	30棟 (西棟)	河内長野市本多町	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.49$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
82	中学校	5-1, 2, 3棟 (北棟)	3-1	甲子校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.78$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		6-1, 2棟 (中央棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.80$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		37棟 (渡り廊下棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.07、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.50	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		北棟⑲棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.06$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.51$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
	が原本立か原北小 <sup>汲</sup>	東棟⑫棟		小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.69$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
83		渡り棟22棟	松原市阿保1-103		2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する 地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.44	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.0	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.9
	<del></del>	南棟東⑬棟			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_T \cdot S_D=0.50$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		南棟西⑭棟			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_T \cdot S_D=0.51$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		渡り廊下棟			1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	I <sub>S</sub> =0.86、 q=3.44	I <sub>S</sub> =0.6, q=1.0	耐震改	修不要	
84	松原市立松原第五	西棟③棟	松原市天美我堂3-	山学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
04	松原市立松原第五	南棟⑥棟		<b>十子</b> 权	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		南棟①棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.10$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.87$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
85	松原市立天美西小 学校	北棟⑥棟	松原市天美西6- 小学校 4 238	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.05$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7	
	子校	渡り廊下棟			1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	I <sub>S</sub> =0.72、 q=1.45	I <sub>S</sub> =0.6、 q=1.0	耐震改	修不要	

No	建築物 <i>0</i> .	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 生の評価の結果	耐震改修等の予定	備考
							現状値	目標値	内容 実施時期	
		北棟③棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		渡り廊下棟			6	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	I <sub>S</sub> =0.73, q=1.20	I <sub>S</sub> =0.7, q=1.0	耐震改修不要	
86	松原市立天美北小 学校	南棟①棟	松原市天美東4- 240-1	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.06, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.42	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		渡り棟⑧棟			2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する 地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.28	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.0	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =1.00
		北棟西④棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.06, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.84	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
87	松原市立天美小学	北棟東⑥棟	松原市天美東8-	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.07$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.55$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
07	校	本棟⑤棟 (西·南側)	12-22	小子双	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		西棟⑦棟 (北側)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.74$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
88	松原市立天美南小	北棟①棟	松原市天美南1-	小学校	3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_T \cdot S_D=0.41$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
00	学校	東棟⑱棟	108	77-12	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.75$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		北棟西⑧棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
89	松原市立恵我小学 校	北棟東⑪棟	松原市大堀3-191	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		東棟⑨棟			4		$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.41$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
90	松原市立松原第六	渡り棟③棟	- 松原市岡1-340	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
	中学校	北棟⑧棟	السادان الاستا	771	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.68$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
91	松原市立河合小学	本•東棟①棟	松原市河合2-405	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.31$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
	校	西棟④棟	1800 110 TE 100	.1 1/2	4	建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.54$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.50$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		南棟東①棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.35$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
92	松原市立松原東小	南棟西⑦棟		小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.43$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
32	学校	北棟⑤棟	→松原市柴垣2-23-1 —	小学校 —	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.43$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		渡り廊下棟			1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	I <sub>S</sub> =0.72, q=1.08	I <sub>S</sub> =0.6, q=1.0	耐震改修不要	

No	建築物 <i>0</i> .	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 生の評価の結果	耐震改修	等の予定	備考
				±/20/11/2			現状値	目標値	内容	実施時期	<u> </u>
		西棟⑧棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.56$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改作	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
93	松原市立松原中学 校	東棟⑯棟・渡り 棟⑱棟	松原市新堂1-604	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改作	<b>修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
		北棟@棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.04, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.53	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改化	<b>修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
		北棟⑮棟			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.13$ , $C_T \cdot S_D=0.44$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改化	<b>修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
94	松原市立松原小学	南棟®-1棟 (南側)	₩ <b>万</b> 士並從0,000	.1. <del>226</del> 14	3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.23$ , $C_T \cdot S_D=0.56$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改化	<b>修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
94	校	南棟®-2棟 (北側)	·松原市新堂2-683	小学校	3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.39$ , $C_T \cdot S_D=0.57$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改化	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		南棟®-3棟 (西棟)			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_T \cdot S_D=1.03$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改化	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		南棟⑮棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.30, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =1.02	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改化	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
95	松原市立松原西小	北棟⑯棟	<b>小百主</b> 蛇带 57	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.59	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改化	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
90	学校	渡り棟⑱棟	<del> </del> 松原市新堂5-57   	小子校	8	一般財団法人日本建築防災協会による「既存壁式鉄筋コンクリート造等の建築物の簡易耐震診断法」	要件を全て満た す	要件を全て満たす	耐震改化	<b>修不要</b>	
		渡り廊下棟			1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	I <sub>S</sub> =0.93、q=1.32	I <sub>S</sub> =0.6、 q=1.0	耐震改化	<b>修不要</b>	
		北棟⑩棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.06, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.64	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改化	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		北棟北⑭棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.32, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.48	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改化	<b>修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
96	松原市立中央小学	南棟⑪棟	松原市田井城3-72	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.17, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.32	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改化	<b>修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
90	校	渡り棟⑭棟	<b>14年7月1日 江 データス</b> の 「2	71 <del>-1</del> 1X	7	一般財団法人日本建築防災協会による「既存壁式プレキャスト鉄 筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める第1次診断法 により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを 確認する方法	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.07	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.0	耐震改值	修不要	I <sub>SO</sub> =0.9
		渡り廊下棟			1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	I <sub>S</sub> =0.83、q=2.04	I <sub>S</sub> =0.6、 q=1.0	耐震改化	<b>修不要</b>	
97	14/m 1) 14/m //	南·東·北棟① 棟	松原市東新町3-	中学校	3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_T \cdot S_D=0.76$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改化	<b>修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
97	中学校	西棟⑫棟	137	甲子校	3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_T \cdot S_D=0.32$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改化	<b>修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
98	松原市立恵我南小	西棟①-A棟	松原市一津屋1-	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.03, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.46	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改化	· 多不要	I <sub>SO</sub> =0.7
98	学校	南棟①-B棟	50-4	小子校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.03, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.46	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改化	<b>修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7

No	建築物の	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称	対する安全性	要な部分の地震に 生の評価の結果	耐震改修	多等の予定	備考			
				±/c 0/11/2			現状値	目標値	内容	実施時期				
		南棟西①棟			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.03$ , $C_{T} \cdot S_{D}=0.36$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7			
	₩ <b>E</b> ±±₩ <b>E</b> Øm	南棟中⑨棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	<b>收修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7			
99	松原市立松原第四 中学校	北棟③棟	松原市別所3-47	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.17$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.57$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	<b>收修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7			
		EV棟			9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改	效修不要				
		北棟③棟 (1·2階)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	核不要	I <sub>SO</sub> =0.7			
		北棟③棟 (3階)			6	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	I <sub>S</sub> =0.76, q=1.36	I <sub>S</sub> =0.7, q=1.0	耐震改	<b>攻修不要</b>				
		東棟⑪棟 (1·2階)			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_T \cdot S_D=0.85$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改	<b>攻修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7			
100	松原市立布忍小学 校	東棟①棟 (3•4階)	松原市南新町1-78	小学校	6	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	I <sub>S</sub> =0.76, q=1.46	I <sub>S</sub> =0.7, q=1.0	耐震改	<b>攻修不要</b>				
		西棟北④棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.54$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	<b>收修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7			
		西棟中②棟	<del> </del>		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.73$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	<b>攻修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7			
		西棟南①棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.74	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	文修不要	I <sub>SO</sub> =0.7			
		北棟⑩棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.06, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.62	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	文修不要	I <sub>SO</sub> =0.7			
		東棟⑬棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.51$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	<b>收修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7			
101	松原市立三宅小学	西棟北⑯棟	松原市三宅中2-55	-15- <del>224</del> ++	小学校	بار کند	/\ <del>\\\</del> \\	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.07, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.82	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	<b>收修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7
101	校	西棟南21棟	148111二七千2-33	小子双	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	<b>收修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7			
		南棟⑮棟 (1·2階)			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_T \cdot S_D=0.35$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改	<b>攻修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7			
		南棟①棟 (3•.4階)			6	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	I <sub>S</sub> =0.70, q=1.00	I <sub>S</sub> =0.7, q=1.0	耐震改	<b>攻修不要</b>				
		北棟①棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.80$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	文修不要	I <sub>SO</sub> =0.7			
100	松原市立松原第二	渡り棟24棟	↑  松原市三宅西2-	<b>₼</b> ₩+÷	1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	I <sub>S</sub> =0.76, q=1.01	I <sub>S</sub> =0.6、 q=1.0	耐震改	文修不要				
102	2 松原市立松原第二	南棟西⑪棟	518	西2- 中学校 —	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.11, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.57	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	文修不要	I <sub>SO</sub> =0.7			
		南棟東⑪棟			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.19, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.55	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改	<b>攻修不要</b>	I <sub>SO</sub> =0.7			

No	建築物の	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称	対する安全	要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修等6		備考
							現状値	目標値	内容	施時期	
103	藤井寺市立藤井寺 北小学校	1号棟 (北棟)	藤井寺市小山3- 288-1	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不	下要	I <sub>SO</sub> =0.7
		6号棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.42$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不	下要	I <sub>SO</sub> =0.7
104	藤井寺市立道明寺 南小学校	1号棟 (西棟)	藤井寺市道明寺4- 目-9-18	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.11$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不	下要	I <sub>SO</sub> =0.7
		3号棟 (東棟)	1		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.53$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不	下要	I <sub>SO</sub> =0.7
105	藤井寺市立第3中学	校	藤井寺市林1-2-1	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不	下要	I <sub>SO</sub> =0.7
106	藤井寺市立道明寺	1号棟 (西棟)	藤井寺市林6-9-20	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.65$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不	下要	I <sub>SO</sub> =0.7
106	中学校	6号棟 (中央棟)	7 脉开守巾体0-9-20	甲子校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.04, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.81	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不	下要	I <sub>SO</sub> =0.7
		管理·教室棟 (①-1,2棟) (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.65$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不	下要	I <sub>SO</sub> =0.7
107	藤井寺市立藤井寺 西小学校	特別教室棟(② -1,2,3棟) (東棟)	藤井寺市藤井寺4- 1-57	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.60$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不	下要	I <sub>SO</sub> =0.7
		⑧棟 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.52$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不	下要	I <sub>SO</sub> =0.7
		管理教室棟 ①-1棟 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU}S_{D}=0.72$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不	下要	I <sub>SO</sub> =0.7
108	大阪狭山市立第三 中学校	渡り廊下棟 ⑨棟	大阪狭山市茱萸木 2-397	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}$ =2.38, $C_{TU}S_D$ =0.62	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不	下要	I <sub>SO</sub> =0.7
		特別教室棟 ②棟 (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU}S_{D}=0.44$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不	下要	I <sub>SO</sub> =0.7
109	千早赤阪村立千早	①-1~5棟 (南·西棟)	南河内郡千早赤阪	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.74$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不	下要	I <sub>SO</sub> =0.7
103	小吹台小学校	①-6棟 (南·東棟)	村大字小吹68-780	11.1X	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.17$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.72$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不	下要	I <sub>SO</sub> =0.7

No	建築物 <i>0</i> .	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修等の予定	備考
				工作的加速			現状値	目標値	内容 実施時期	
		①-1~3棟 (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.74$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
110	泉大津市立穴師小 学校	②棟 (中央棟)	泉大津市我孫子1- 539ほか	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.64$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		④棟 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.05$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.82$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
111	泉大津市立楠小学	①-1~5棟 (南·西棟)	泉大津市我孫子2-	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.50$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
'''	校	③-1~3棟 (南・東棟)	29-1ほか	小子校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.51$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		②-1、②-2棟 (西棟)			3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01, C <sub>T</sub> •S <sub>D</sub> =0.54	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
112	泉大津市立誠風中	③棟 (南棟)	    泉大津市池浦町	中学校	4	ー般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.80$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
112	学校	⑦-1、⑦-2棟 (北棟)	140ほか	甲子仪	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.05$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.82$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		⑤棟 (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		①-1棟 (西·北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.74$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
110	泉大津市立東陽中	①-2、3棟 (西·南棟)	    泉大津市池浦町	+ <del>**</del> ++	3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_T \cdot S_D=0.32$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
113	学校	②棟 (北棟)	170ほか	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.25$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.91$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		⑥-1、2棟 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.11$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.41$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		②棟 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.50$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
114	泉大津市立浜小学 校	①棟 (南棟)	泉大津市小松町1 ほか	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.48	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		<b>()</b> 棟 (東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		①-1、①-4棟 (中央棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.54$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
115	泉大津市立小津中 学校	⑦-1、⑦-2棟 (東棟)	泉大津市助松町2 ほか	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.11$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.69$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		®-1~4棟 (西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
116	泉大津市立条東小 学校	①-1、①-2棟 (北棟)	泉大津市千原町	小学校	3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.17, C <sub>T</sub> •S <sub>D</sub> =0.38	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
116	学校	①-3、①-4棟 (南棟)	122-1ほか	小子仪	4	ー般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.78$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7

No	建築物 <i>0</i> .	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修等の予定	備考
				±/c 0/11/2			現状値	目標値	内容 実施時期	
117	泉大津市立上條小	①棟 (東棟)	泉大津市東助松町	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.08$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.80$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
'''	学校	⑧棟 (西棟)	3-299ほか	7.7-12	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.80$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		①-1棟 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
118	泉大津市立条南小 学校	①-2棟 (西棟)	泉大津市宮町19-1 ほか	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		⑥-1、⑥-2棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.35, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.31	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		①-1A (北·東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.84$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
		①-1B、2棟 (中央・北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.89$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
119	高石市立高南中学 校	9棟 (北·西棟)	高石市綾園5-4-52	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
		8棟 (中央·西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.02, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.77	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		⑪-1、2 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.74
		中央棟①-1、2 (一部)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.81$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
120	高石市立加茂小学 校	西棟⑥	高石市加茂3	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.53$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
		西棟①-2(一 部)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.81$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
		① (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.81$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
121	高石市立高石小学 校	<ul><li>(北棟)</li></ul>	高石市高師浜3	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.75$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		⑦-1、2、3、4の 一部 (中央棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.91$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
		①、22の一部 (中央棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.80$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
122	高石市立高陽小学	21 (北棟)	高石市千代田5	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.21, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.77	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
122	校	①、①-1、2、3 (南棟)	同位の十八四3	小子校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
		渡り廊下			1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	I <sub>S</sub> =0.88、q=1.93	I <sub>S</sub> =0.6、 q=1.0	耐震改修不要	

No	建築物 <i>0</i>	)名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途		耐震診断の方法の名称	対する安全	要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修等の予定	備考
		① (中央・東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	現状値 I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.13、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.90	目標値 I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00、 C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.30	内容 実施時期 耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
123	高石市立取石小学	(事) (中央·西棟)	高石市取石3	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.85$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
123	校	④-1 (北棟)	一局有印取有3	小子校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.53$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
		管理棟⑫-1、2 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.13$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.37$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
		①、 <b>④</b> -1 (中央棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.81$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
124	高石市立清高小学 校	⑤ (北棟)	高石市西取石8	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.80$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
		<b>④</b> −2 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.08$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.87$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
		⑩ (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
125	高石市立羽衣小学 校	<sup>1</sup> 4-1 (中央棟)	高石市羽衣3	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
		<ul><li>①4-2</li><li>(南棟)</li></ul>			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.36$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
126	羽衣学園 中学校	本部棟1期 (南棟)	高石市東羽衣1-	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.76$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
120	舎	本部棟2期 (北棟)	11-57	7-7-12	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
127	羽衣学園 体育館		高石市東羽衣1- 11-57	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.38$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
128	大阪府立佐野支援 学校	管理診断棟 (東棟)	泉佐野市日根野 375	特別支援学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.10$ , $C_{TU}S_{D}=0.80$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
129	泉南市立新家東小	1棟 (南棟)	- 泉南市兎田729-3	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
.20	学校	6棟 (西棟)	23-111-11-20 H 1-E0 0	, , , , ,	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.11$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		1棟 (南棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.50$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
130	泉南市立一丘中学 校	3棟 (中央棟)	泉南市信達市場 543-12	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.02$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.81$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		4棟 (北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.52$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改修不要	I <sub>SO</sub> =0.7

No	建築物 <i>0</i>	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修	§等の予定	備考
				±/20/13@			現状値	目標値	内容	実施時期	
		1棟 (南·西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.75$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
101	泉南市立信達中学	5棟 (南•東棟)	泉南市信達牧野		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.05$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.50$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
131	校	9棟 (北棟)	34-1	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.12$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.45$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	෭修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		10棟 (中央棟)	1		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.05$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.31$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	෭修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		6棟 (南·東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.79$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	෭修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
132	泉南市立信達小学 校	14棟 (南·西棟)	泉南市信達牧野 705	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.39$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		9-1、9-2棟 (西棟)	1		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.24$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.47$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		校舎1棟 (西・東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.44$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		校舎2-1、2-2 棟 (北棟)	†		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.12, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.85	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
133	泉南市立泉南中学 校	校舎5-1、5-2 棟 (東棟)	+   泉南市樽井2-9-1	中学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.81$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.30	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		校舎6-0棟 (南棟)	1		4	ー般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.21$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.94$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		校舎11棟 (西·西棟)	1		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		⑩棟 (南·東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.73$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
104	ᆒᄜᆓᆠᄽᆥᄼᄼᆄ	①棟 (南·西棟)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	小学技	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.80$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
134	岬町立淡輪小学校	18棟 (渡り廊下棟)	862	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.09$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.32$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		① ( ( 北棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.09$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.83$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	෭修不要	I <sub>SO</sub> =0.7

No	建築物の	2名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修	等の予定	備考									
				±/c 0/11/2			現状値	目標値	内容	実施時期										
		③棟 (体育館棟)			6	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	I <sub>S</sub> =0.77, q=1.06	I <sub>S</sub> =0.7, q=1.0	耐震改	修不要										
		①棟 (北·東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.14, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.32	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7									
		⑩棟 (北·西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.10, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.81	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7									
135	岬町立多奈川小学 校	②棟 (南棟)	泉南郡岬町淡輪 1624	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7									
		④棟 (南渡り廊下 棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.36$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.31$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7									
		⑤棟 (西渡り廊下 棟)			2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する 地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.28	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.0	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.8									
		⑫棟 (東·西棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.03, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.75	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7									
		①棟 (西·東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.73$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7									
126	細町支次口小学技	①棟 (西·中央棟)	泉南郡岬町深日	小学坛	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7									
130	5   岬町立深日小学校 ① 〔 〔	①棟 (西·西棟)	899	<sup>  町      小学校  -   </sup>	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.49$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
		⑪棟 (東・東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.01, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.78	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7									
		②棟 (渡り廊下棟)			4		$I_S/I_{SO}=1.17$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7									

# 体育館(一般公共の用に供されるものに限る。)

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修等	等の予定	備考
			エだる用述			現状値	目標値	内容	実施時期	
	A棟 泉佐野市市民総合 (東棟)	泉佐野市新安松1-	体育館	4		$I_S/I_{SO}=1.01$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.45$	$I_S/I_{SO}=1.0$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.3$	耐震改修	<b>多小安</b>	I <sub>so</sub> =0.75 U=1.25
	体育館 B棟 (西棟)	6854-6ほか		4		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.12, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.44	$I_S/I_{SO}=1.0$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.3$	耐震改修	タイト女	I <sub>so</sub> =0.75 U=1.25

#### ボーリング場、スケート場、水泳場その他これらに類する運動施設

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修	§等の予定	備考
			土たる用述			現状値	目標値	内容	実施時期	
1	Aゾーン 大阪府立臨海ス (西棟)	高石市高師浜丁6-	運動施設	4		$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.80$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.3$	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
	ポーツセンター Bゾーン (東棟)	1	建轫旭故	4		$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.81$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.3$	耐震改	7修不要	I <sub>SO</sub> =0.75

# 病院又は診療所

No	建築物の	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称	対する安全	要な部分の地震に 生の評価の結果		等の予定	備考
				1/20/11/25			現状値	目標値	内容	実施時期	
	富田林病院	外来中央診療 棟	富田林市向陽台1-	病院	3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.68$ , $C_{T} \cdot S_{D}=1.05$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改	修不要	
	III III III III III III III III III II	病棟·共同棟	3–36	טפואל.	3		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.48, C <sub>T</sub> •S <sub>D</sub> =0.91	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改	修不要	
2	近畿大学病院 病院棟	SRC造部分 (4~5階の西側 部分を除く)	大阪狭山市大野東 -377-2ほか	病院			I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =0.28、 C <sub>T</sub> ⋅S <sub>D</sub> =0.06	$I_{S}/I_{SO}=1.0$ , $C_{T} \cdot S_{D}=0.28$	<b>I</b> A +⊓	月着工予定	別敷地に建替 え予定 (令和4年10月
	120 14	S造部分 (4~5階の西側 部分)	377 21343		1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	Is=0.36、 q=1.45	Is=0.6、 q=1.0		月完了予定	着工、令和7年 10月完了)
3	近畿大学病院 円形	(精神病棟)	大阪狭山市大野東 377-2ほか	病院	4		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.05、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.65	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.3$	耐震改	修不要	

# 集会場又は公会堂

No	建築物 <i>0</i>	)名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修	等の予定	備考										
				エたる用述			現状値	目標値	内容	実施時期											
		A棟 (西棟)			4		$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.43$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.3$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7										
1	市民会館	B棟 (東・北棟)	大東市曙町地内	集会場 (その他用途: 公益施設:飲	9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改	修不要											
		B棟 (東・南棟)		食店)	9	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合するものであることを確認する方法	確認できる	確認できる	耐震改	修不要											
2	四條畷市立市民総合	テセンター	四條畷市中野3- 388-6ほか	集会場	4		$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.74$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.3$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.7										
		小ホール			3		$I_S/I_{SO}=1.08$ , $C_T \cdot S_D=0.39$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.75										
2	藤井寺市市民総合	会館棟	藤井寺市北岡1-2-	藤井寺市北岡1-2-	藤井寺市北岡1-2-	藤井寺市北岡1-2-	藤井寺市北岡1-2-	藤井寺市北岡1-2-	藤井寺市北岡1-2-	藤井寺市北岡1-2-	藤井寺市北岡1-2-	_ 藤井寺市北岡1-2-	藤井寺市北岡1-2-	生会提	3		$I_S/I_{SO}=1.03$ , $C_T \cdot S_D=0.78$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.75
3		訓練・老人・展 3 示棟		集会場	3		$I_S/I_{SO}=1.32$ , $C_T \cdot S_D=0.39$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_T \cdot S_D \le 1.25$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.75										
		大ホール			3		$I_S/I_{SO}=1.07$ , $C_T \cdot S_D=0.37$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改	修不要	I <sub>SO</sub> =0.75										

百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に性の評価の結果	耐震改修	§等の予定	備考
			主たる用途			現状値	目標値	内容	実施時期	
1	株式会社マナベインテリアハーツ 高槻店	三島郡島本町大字 高浜219-1ほか	物販店舗	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}$ =0.51, $C_{TU} \cdot S_D$ =0.31	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.3$			
2	ポップタウン住道1番館	大東市赤井1-283- 1	物販店舗 (その他用途: 遊技場)	1	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	I <sub>S</sub> =0.31、 q=1.24	I <sub>S</sub> =0.6、 q=1.0			
3	ダイエーグルメシティ四条畷店	大東市北楠の里 69-1	物販店舗	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.05$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.64$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.3$	耐震改	7修不要	
4	ジョイフル国分	柏原市国分本町1- 1	物販店舗	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}$ =0.51, $C_{TU} \cdot S_{D}$ =0.32	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.3$			要安全確認計 画記載建築物 にも該当
5	千代田ショッピングセンター	河内長野市市町 1646ほか	物販店舗	3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.14, C <sub>T</sub> ·S <sub>D</sub> =0.68	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $0.3 \le C_{T} \cdot S_{D} \le 1.25$	耐震改	7修不要	
6	イズミヤ 松原店	松原市上田6-27-3 ほか	物販店舗	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}$ =0.30, $C_{TU} \cdot S_D$ =0.20	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.3			
7	イオン金剛店	大阪狭山市半田1- 35-1ほか	物販店舗	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.04$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.67$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.3$	耐震改	7修不要	
8	貝塚駅前再開発第1ビル	貝塚市近木町1447	物販店舗 (その他用途: ボウリング場 ・事務所)	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.71$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.3$	耐震改	<b>෭</b> 修不要	

#### ホテル又は旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途		耐震診断の方法の名称		要な部分の地震に 性の評価の結果	耐震改修	多等の予定	備考
			エたる用述			現状値	目標値	内容	実施時期	
1	大阪府立青少年海洋センター 宿泊 管理棟	泉南郡岬町淡輪 6190	ホテル	4		I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00、 C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.78	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.3$	耐震改	と同窓といる	I <sub>SO</sub> =0.75 U=1.25

# 幼稚園又は保育所

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称		E要な部分の地震 │ 全性の評価の結果 │	耐震改修	§等の予定	備考
			土たる用述			現状値	目標値	内容	実施時期	
	保育所 (北棟)	園舎		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.12$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.81$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.3$	耐震改	攻修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
1	交野市立第三保育 所 幼稚園 舎 (南棟)	①校 交野市幾野3−18−1	保育所	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}$ =2.02, $C_{TU} \cdot S_{D}$ =1.47	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.3	耐震さ	攻修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
2	交野市立第二幼稚園·第二所	<sup>呆育</sup> 交野市星田5-2-12	保育所	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.05$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.76$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.3	耐震改	攻修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
3	泉大津市立穴師幼稚園	泉大津市我孫子1- 12-1	幼稚園	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.07$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.76$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.3$	耐震改	攻修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
4	泉大津市立条南幼稚園	泉大津市寿町16- 16	幼稚園	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.11$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.3	耐震改修	攻修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
5	泉大津市立条東幼稚園	泉大津市千原町2- 11-1	幼稚園	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.30$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.95$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.3	耐震改	攻修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
	幼児棟(東棟)	①		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.25$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.95$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.3$	耐震改修済		I <sub>SO</sub> =0.7
6	泉大津市立かみ じょう認定こども園 (旧上條幼稚園) 幼児棟 (西棟)	泉大津市東助松町	幼稚園	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.12$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.86$	$I_{\rm S}/I_{\rm SO}$ =1.00, $C_{\rm TU}$ • $S_{\rm D}$ =0.3	耐震	改修済	I <sub>SO</sub> =0.7
7	事務室 保育室 泉南市立浜保育所 (北棟)		保育所	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.10$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.82$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.3$	耐震さ	攻修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
	保育室 (南棟)	棟		4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.30$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.97$	$I_S/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.3$	耐震改	攻修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
	保育室(東棟)			4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO}=1.09$ , $C_{TU} \cdot S_D=0.78$	I <sub>S</sub> /I <sub>SO</sub> =1.00, C <sub>TU</sub> •S <sub>D</sub> =0.3	耐震改	攻修不要	I <sub>SO</sub> =0.7
8	泉南市立鳴滝第2 保育所 遊戲室 (西棟)		保育所	4	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_{S}/I_{SO}=1.30$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.43$	$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.3$	耐震改	攻修不要	I <sub>SO</sub> =0.7

#### 保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途		耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震 に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
			±/2 0/11/2			現状値	目標値	内容	実施時期	
1	富田林市庁舎 北館	富田林市常盤町1- 1	公益上必要な 施設	5-I			$I_{S}/I_{SO}=1.0$ , $C_{T} \cdot S_{D}=0.25$			
2	泉大津市庁舎	泉大津市東雲町 208ほか	公益上必要な 施設	5-I			$I_{S}/I_{SO}=1.0$ , $C_{T} \cdot S_{D}=0.25$			I <sub>SO</sub> =0.75 U=1.25
3	泉佐野市役所 市本庁舎	泉佐野市市場東1- 295-3	公益上必要な 施設	4			$I_{S}/I_{SO}=1.00$ , $C_{TU} \cdot S_{D}=0.3$	耐震改修不要		I <sub>SO</sub> =0.75